

整理番号	25003
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月18日
事業担当課	平和推進課

《基本情報》

事務事業名	「平和の文化」醸成事業費		<input checked="" type="checkbox"/> 新規
			<input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	B3 平和の文化を醸成します		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	多くの人々が	当事者として、平和を考え行動している。	
個別施策	B3-1 スポーツや芸術などを通して、身近なところから平和について考え、行動する機会を増やします		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	多くの人々が	スポーツや芸術などを通して、身近なところから平和について考え、行動している。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	被爆100年を見据え、被爆者に代わり多くの市民が核兵器廃絶に向けた流れを後押しする必要があるが、被爆者の平和への思いが十分に受け継がれていない。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	多くの人々が身近なところから平和について考え、行動する入口を増やし、日常の中に「平和の文化」を根付かせる。
課題(どういふことをする必要はあるのか)	「平和の文化」の認知度を高めるとともに、様々な入口から平和を学ぶ機会を通して、平和について考え、行動する当事者を増やす必要がある。

上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	<input type="radio"/> 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・ 拡大 事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)</p>	<p>令和3年度から取り組んでいる「平和の文化」の醸成の一環として、令和4年度から毎年9月中旬～12月中旬を「平和の文化キャンペーン」期間とし、庁内や関係機関、民間団体と連携しながら「平和の文化」を多くの人の日常の中に根付かせるための事業を集中して実施。また、「考えよう!『SDGs×平和』事業」を実施し、身近な分野を入口に平和を考える契機とする。</p> <p>1 平和の文化キャンペーン 9月中旬開催のポータル日本庭園灯籠寄贈式を皮切りに、12月中旬開催の国際平和映画祭(追悼平和祈念館主催)までの期間中に関連イベントを実施。主な事業として、平和への思いを表現した作品の展示・販売、ステージイベント等を行う「平和の文化祭」を開催。</p> <p><平和の文化祭> 平和の新しい伝え方応援事業選定作品や平和の文化認定事業の作品等を展示し、自分の興味のあることを入口に平和を発信する取組みを紹介するほか、平和を想起させる飲食物や雑貨を一部取り入れて販売する「平和のマルシェ」を開催。 日時・場所…10～11月の1日間、ベルナード観光通り(予定)</p> <p>2 考えよう!『SDGs×平和』事業 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)教員と環境活動を行う学生を講師に迎えSDGsのうち「環境」を入口に、子どもたちが学ぶ場を創出。学習の最後に、平和のことも地球規模の問題は繋がっていて、一人ひとりの行動が大切であることが伝わる組立とする。 対象・定員・日時・場所…小学校5・6年生、20人程度、8月中旬頃に3時間×3回シリーズで開催(夏休み自由研究作品として、成果物を自校内で掲示)、市立図書館多目的室等 【事業期間】令和4年度～ 【総事業費】1,670千円 【事業費内訳】平和の文化キャンペーン1,475千円、考えよう!『SDGs×平和』事業195千円</p>
<p>業務量の増減</p>	<p>426.3時間</p>

市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)		<input type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働					
		市民主体の平和の取組みを顕在化するとともに、平和について考え、気軽に行動する機会を創出することで、更に多くの人に平和の輪を広げていく。					
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (令和 年度～ 年度)					
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	1,670					1,670
	総額						
	財源名称	一般財源					
成果(活動)指標	指標(単位)	平和を掲げるスポーツや芸術などの事業総数					
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値	5	5	5	5	5	
	成果指標及び目標値の説明	平和を考える機会を増やすことを目的に、平和を掲げるスポーツや芸術などの事業のうち長崎市が主催する事業数を成果指標とした。令和2年度の実績から、スポーツ・文化各1件の増加を目標とする。					

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
<p>毎年9月中旬から12月中旬を「平和の文化キャンペーン」期間に設定し、平和の思いを表現した作品の展示販売や、ステージイベントなどの「平和の文化」関連イベントを実施するものである。</p> <p>また、「環境」を入口に、平和について学ぶ講座を開催する。</p> <p>事業の実施により、身近なところから平和について考え気軽に行動する機会が創出され、日常の中に「平和の文化」を根付かせることにつながることを期待できることから事業の実施は適当である。</p> <p>ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。</p>	
<p>【事業実施に対する意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組みが継続的なものになるよう、若者や民間の方が主体的に参加・活動する仕組みづくりについて、検討を深めること。 ・他部局のイベント等と連携するなど、面的に展開し、相乗効果が発揮されるように取り組むこと。 	